

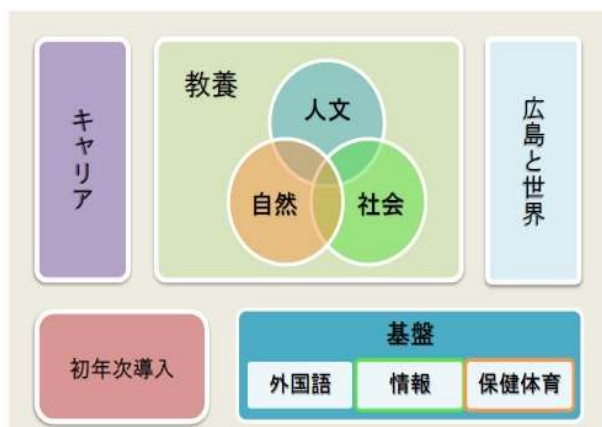
参加型・行動型アクティブラーニングの実践と検証

全学共通教育科目「地域情報発信論」の授業づくりを中心に

県立広島大学

馬本 勉・五條 小枝子・塩川 満久・秋山 伸隆・広谷 大助・藤井 宣彰・吉田 倫子

1. 背景と目的



・平成 27 年度、**新たな全学共通教育プログラム**がスタート

・大学で学ぶ基礎・基盤科目／専門と並び立つ豊かな教養を身につける科目 **「L(エル)字型」**に配置 ⇒

新たな科目群「広島と世界」 (各 2 単位、選択科目)

県大生として学ぶ**広島と世界** ボランティア活動 地域の理解 **地域情報発信論**
留学生と学ぶ**広島** 異文化としての日本 海外研修 I・II

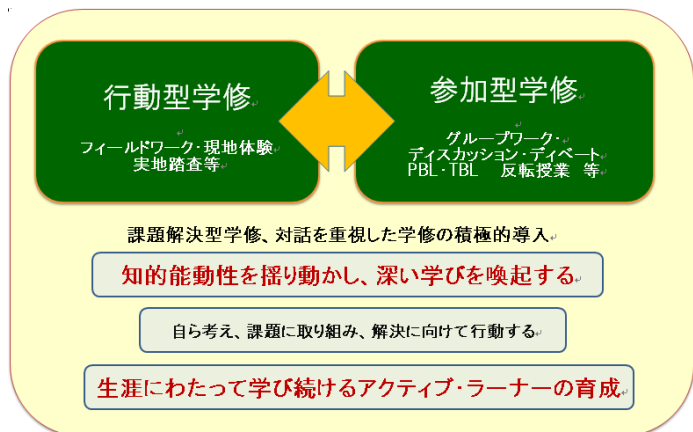
カリキュラムポリシー

- 1 学修目標** 地域（広島）への理解と、世界とのつながりへの理解とを踏まえ、その**理解や知識を応用・活用し、行動する力を**養います。
- 2 学修成果** (ア) 今を生きる人間としての幅広い知識を身につけ、時代の変化に柔軟に対応できる力が身につきます。(イ) 異文化への理解をもとに、物ごとの本質を見抜いて行動する力が身につきます。
- 3 学修環境** (ア) 「遠隔講義システム」を活用し、3キャンパスの学生が共に学べる機会を提供します。(イ) フィールドワークにより、地域の課題を肌で感じ取る機会を提供します。(ウ) **グループワーク、ディスカッションや合同発表会**等を通じて、コミュニケーション能力を高めるとともに、協働して物ごとを解決することの大切さを体感する機会を提供します。(エ) 留学生と日本人学生との交流を主眼とする科目を設け、文化的背景の異なる者どうしが理解し合い、共に生きることの意義を学ぶ機会を提供します。



地域情報発信論： 賛否の分かれる地域の諸問題をテーマに、新聞記事を読み、取材し、討論し、発信するアクティブ・ラーニング型の授業（夏季休業中5日間の集中講義）

2. 授業設計の過程と特徴



写真撮影実技指導



平和記念公園での取材



ポスター作り



サテライトキャンパスひろしま



- ◆ 行動型学修を通じた、学外で現地体験（フィールドワーク、実地調査）
- ◆ 参加型学修を通じた、経験の共有と内省（ディスカッション、グループワーク）
- ◆ 成果発表を通じた、学修内容の整理（合同発表会、プレゼンテーション）



ポスターセッション

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	① 平和記念資料館「被爆再現人形」撤去 ② 「旧広島市民球場」跡地利用	平和公園一帯のあるべき姿を考える：かき船移転問題を手がかりに	オバマ大統領の広島訪問を評価する
事前課題	なし	「今日の一押し（気になる）記事」の要約とコメント（3日分）	「今日の一押し記事」の概要と自他の意見（2日分）
第一日	1 新聞の読み方と取材の裏側（外勤記者の一日）	記者の仕事	イントロダクション、グループ分け
	2 取材対象を見る目：被爆再現人形を題材として	かき船移転問題の経緯と「今」	事前課題の確認、グループ討議
	3 取材計画「被爆再現人形をめぐる」	かき船移転問題についてどう考えるか：賛否の論拠の整理と問題点の抽出	グループ討議の内容を発表し、全体で共有
第二日	4 新聞記事の特性：視覚に訴える 写真撮影の視点	取材計画を練る：平和公園一帯	記者の仕事を学ぶ
	5 取材実習(1)「広島平和記念資料館」取材及び写真撮影指導と学芸員への囲み取材	取材実習(1)「平和公園一帯」（写真撮影指導含む）	オバマ大統領・広島訪問の経緯
	6 デバート「被爆再現人形、保存か撤廃か、第3の方法か」	取材実習(2)「平和公園一帯」について歴史と今を学ぶ	オバマ大統領広島訪問をめぐる評価／取材計画の立て方
第三日	7 記事風レポート作成の手法	模擬記者会見：学生の質問に記者が答える	取材実習(1) 写真撮影指導／取材内容の確認
	8 記事風レポート合評	記事風レポート作成：「かき船移転問題」私はこう考える	取材実習(2) オバマ大統領の歩いた道をたどる
	9 取材対象を見る目：旧市民球場跡地利用を題材として	グループディベート：グループの統一見解をまとめる・全体発表	記事風レポートのまとめ方
第四日	10 新聞情報の分析：過去記事の把握を通して現状の把握を試みる	平和公園の成り立ち・原爆ドーム100年	記事風レポート発表：グループ討議
	11 取材実習(2)「旧市民球場跡地」	グループワーク：平和公園の整備イメージを見出し化する	グループディベート：グループ見解をまとめ、発表
	12 グループワーク・発表「街のにぎわいを取り戻す」	グループワーク：イメージ図作成	ポスター発表のポイント、実習
第五日	13 グループワーク：壁新聞による提案の作成	グループワーク：ポスター作成	ポスター仕上げ
	14 プレゼンテーション：提案の発表	グループワーク：ポスター仕上げ	ポスターセッション
	15 まとめ：投書形式でまとめる	プレゼンテーション：提案の発表・質疑応答・合評まとめ	ポスターセッション・合評、まとめ
事後課題	新聞への投書形式で授業を振り返る	振り返りレポート「平和公園一帯のあるべき姿について」	振り返りレポート「オバマ大統領の広島訪問を改めて評価する」

3. 成果と課題

【成果】

新聞社スタッフと大学教員との協働

正解のない問い、様々なアクティブ・ラーニング

問題意識をもって授業に臨み、自分の言葉や枠組みの中で問題を捉える / 他者の立場・視点を知り、自らの認識を見直し、思考を深める / 現地に赴き、地域の課題を自らの目で確認・把握する / それを記事や提言として発信する

⇒ 協働性、思考の深化、新たな視点

【課題】

授業外学修、学生独自の視点、より詳細な学修成果の指標づくり
⇒ ルーブリック、テキストマイニング



学生による授業評価（外側の折れ線が本授業，内側は全学共通教育平均値）

H27～「Q2 授業外学修時間数」を明示、「Q3 課題明示」「Q4 能動的学修機会」の項目追加
実施年度 平成 26 年度 平成 27 年度 平成 28 年度

